



Kumamoto City

News Release

令和元年（2019年）10月24日

第4回アジア・太平洋水サミット熊本開催 PRのためのマレーシアへの出張について

1993 年以来定期的に行われているアジア最大のフォーラムであり、持続可能な都市開発に関するアジア太平洋地域の主要な関係者を招集する「第7回アジア・太平洋都市フォーラム」に参加し、第4回アジア・太平洋水サミットの熊本開催をPRしてきました。

◆開催都市 マレーシア ペナン

◆会場 Setia SPICE コンベンションセンター

◆開催期日 2019 年 10 月 15 日(火)～17 日(木)

◆テーマ 「アジア太平洋地域の都市の未来:持続可能な開発のための
2030 アジェンダを達成するための変革の道筋」

◆主催 ペナン島市議会・ペナン州

◆共催 ESCAP、国連人間居住プログラム(UN-Habitat)、マレーシア政府

◆フォーラムの基本目標

- (i)強力な政治的及び財政的支援を動員し、持続可能な都市化の実施を促進するための国、都市及び利害関係者の具体的な行動とパートナーシップの提案
- (ii)利害関係者、選挙区民、一般市民の間で持続可能で包括的な都市の解決策と機会に関する認識を高める
- (iii)包括的なマルチステークホルダーの議論、教訓の共有、および将来の政策を支援するためのベストプラクティスの交換を通じた持続可能な都市開発に関する認知の改善

◆参加者

マレーシアのズライダ・カマルディン住宅・地方自治大臣、チョー・コン・ヨー ペナン州首席大臣、国際機関の代表者など約 4,000 人が参加。

【大西市長が参加したセッション】

■Leaders Dialogue - Urban Resilience リーダの対話

○日 時:10 月 16 日(水) 9:00~10:30

○会 場: Ballroom (Setia SPICE コンベンションセンター)

○テーマ:「都市のレジリエンス(強靱化):SDGs の達成と加速」

レジリエンスの様々な側面(経済、環境、気候、社会)でアジア太平洋都市が直面している主な課題について論議

○使用言語:英語(通訳者の同時登壇による逐次通訳可能)

○セッションの形式:

・基調講演

講演者:ショバカール・ダカル博士(アジア工科大学教授)

・7 人のスピーカーによるプレゼン

1.熊本市の大西市長、市の視点

大西一史(熊本市長)

2. 諮問委員会のメンバー-マレーシアプランナー協会

ダリア・ロスリー(マレーシアプランナー協会諮問委員会委員)

3.都市を支援するイクレイの活動について

エマニ・クマール(イクレイ副事務局長:イクレイ南アジア事務局長)

4. ICEC Korea -都市の気候変動政策について

ウォン・テュン博士(国際気候環境センター会長)

5.都市計画のための民間部門の関与について

ジュリアナ・ディン(地域ディレクター、環境及び健康、ランボル)

6. 100RC と、計画のためにサイロを破る方法

サム・ケルナハン(Resilient Cities Network のアジア太平洋地域の
マネージングディレクター)

7.都市開発のための EU の政策と国際協力を含むグローバル都市

ルドルフ・ニースラー博士(欧州委員会地域・都市政策局長)

・パネルディスカッション

・参加者(視聴者)との交流

○プレゼン内容: 熊本地震の経験と教訓

・経済の再生・成長を見据えた熊本市の取組

・第4回アジア・太平洋水サミット熊本開催の PR

■CLOSING CEREMONY

○日時:10月17日(木)14:30～16:20

○会場: Ballroom (Setia SPICE コンベンションセンター)

■Declare Your Actions! 行動宣言

○日時:10月17日(木) 15:00～15:30

○使用言語:英語

○形式

登壇によりスピーチ

○宣言参加者

- ・アフガニスタン ニリ市
- ・アジア開発銀行
- ・欧州連合
- ・国連都市及び地方自治体アジア太平洋
- ・100Resilient Cities(100レジリエントシティズ)
- ・CityNet
- ・連邦地方自治体フォーラム
- ・イクレイ
- ・日本 熊本市
- ・アーバニスマレーシア など

【お問い合わせ先】

環境局 水保全課 アジア・太平洋水サミット推進室

電話: 096-328-2437

課長: 水保全課長 永田 努(ながた つとむ)

担当: 室長 廣瀨 宗美(ひろたき むねよし)